

センチネルリンパ節陽性メラノーマの治療選択と予後に関する多機関共同観察研究

1. 研究の対象

2018年7月～2021年6月の間に国立がん研究センター中央病院および、共同研究機関で悪性黒色腫に対する原発巣への根治切除術とセンチネルリンパ節生検を受けた方

2. 研究目的・方法

センチネルリンパ節 (sentinel node: SN) 転移陽性メラノーマ症例に対しての治療実態とその予後を明らかにする目的で行います。

メラノーマに対する原発巣への根治切除と SN 生検を受け、SN 陽性であった患者のカルテから、下記の項目を抽出し、治療選択により予後が異なるかを評価します。

SN 生検実施日、年齢、性別、発生部位、臨床病型、Tumor thickness (TT)、SN の領域、SN 転移の有無、SN 転移の個数、転移リンパ節の厚み、stage (AJCC8th)、所属リンパ節郭清術実施の有無、non-SN 転移の有無、non-sentinel 転移個数、術後補助療法実施の有無、術後補助療法に用いた薬剤、最終経過観察日、転移再発の有無、転移再発様式、転移再発までに要した期間、最終転帰

研究実施期間：研究許可日～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

メラノーマに対する原発巣への根治切除と SN 生検を受け、SN 陽性であった患者のカルテから、下記の項目を抽出し、治療選択により予後が異なるかを評価します。

SN 生検実施日、年齢、性別、発生部位、臨床病型、Tumor thickness (TT)、SN の領域、SN 転移の有無、SN 転移の個数、転移リンパ節の厚み、stage (AJCC8th)、所属リンパ節郭清術実施の有無、non-SN 転移の有無、non-sentinel 転移個数、術後補助療法実施の有無、術後補助療法に用いた薬剤、最終経過観察日、転移再発の有無、転移再発様式、転移再発までに要した期間、最終転帰

4. 外部への試料・情報の提供

外部機関への情報提供は行いません。

5. 研究組織

研究代表者・研究責任者)

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 山崎 直也

〒 104-0045

住所 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号 03-3542-2511

(研究事務局)

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 緒方 大

〒 104-0045

住所 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号 03-3542-2511

(共同研究機関)

- ・ 国立がん研究センター
- ・ 北海道大学病院
- ・ 旭川医科大学
- ・ 札幌医科大学
- ・ 筑波大学
- ・ 埼玉県立がんセンター
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター
- ・ 埼玉医科大学病院
- ・ がん・感染症センター都立駒込病院
- ・ 慶應義塾大学病院
- ・ 東京大学医学部
- ・ 新潟県立がんセンター新潟病院
- ・ 富山県立中央病院
- ・ 信州大学医学部
- ・ 静岡県立静岡がんセンター
- ・ 名古屋大学医学部
- ・ 京都大学医学部附属病院
- ・ 京都府立医科大学
- ・ 大阪国際がんセンター
- ・ 国立病院機構九州がんセンター
- ・ 福岡大学医学部
- ・ 久留米大学医学部
- ・ 九州大学病院
- ・ 熊本大学病院
- ・ 国立病院機構鹿児島医療センター

- ・がん研究会有明病院
- ・神戸大学
- ・自治医科大学
- ・日本医科大学
- ・富山大学
- ・近畿大学
- ・北里大学
- ・杏林大学
- ・獨協医科大学埼玉医療センター
- ・三重大学
- ・福井大学
- ・和歌山県立医科大学
- ・名古屋市立大学
- ・岐阜大学
- ・国立がん研究センター東病院
- ・島根大学
- ・千葉大学
- ・東京医科大学八王子医療センター
- ・北海道大学
- ・宮崎大学
- ・横浜市立大学

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和歌山県立医科大学 皮膚科 山本有紀
〒 641-0012
和歌山市紀三井寺 811-1
電話番号 073-441-0661